

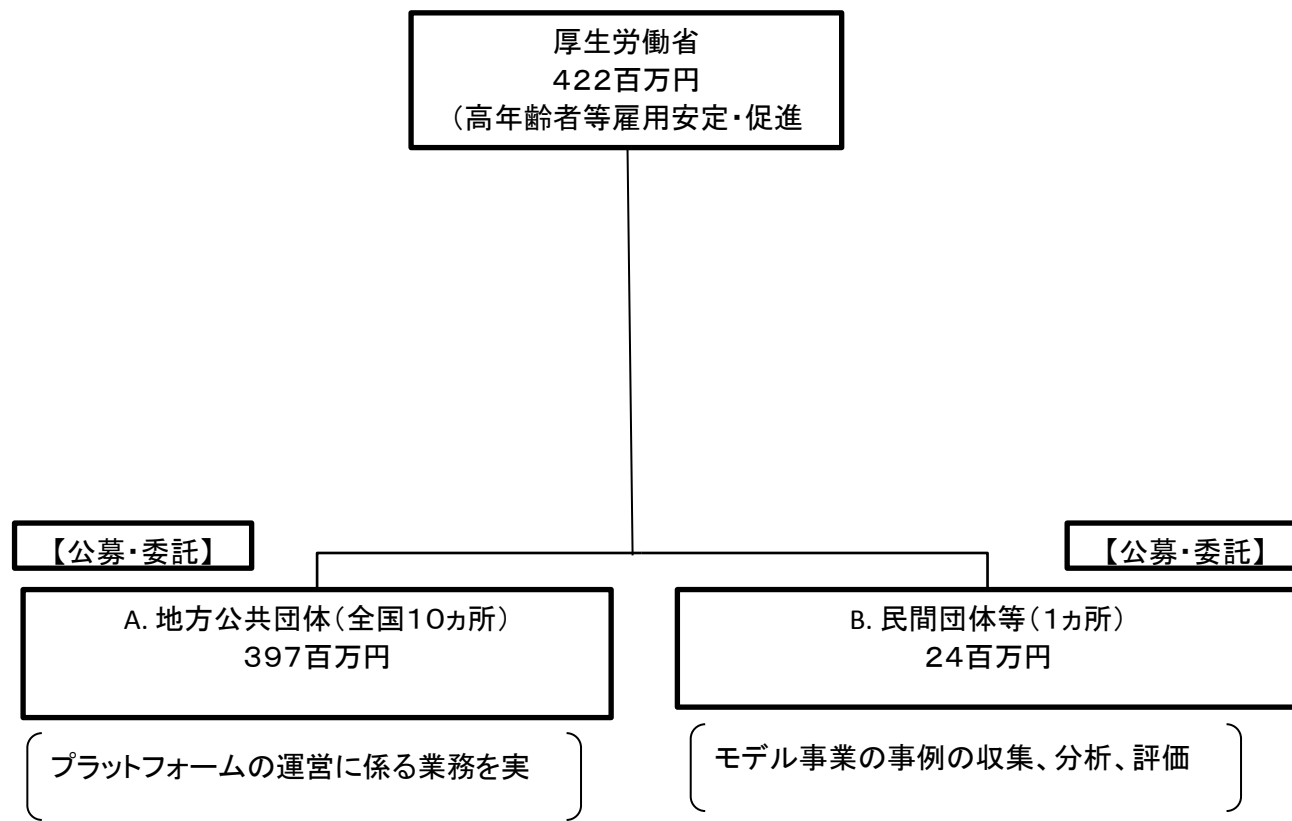
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	生涯現役社会実現プラットフォーム事業（仮称）		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度（開始）・終了年度未定		担当課室	高齢者雇用対策課	高齢者雇用対策課長 中山明広		
会計区分	一般会計		政策・施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	少子高齢化が進展する中、高齢者を含め全ての人が意欲さえあれば活躍できるような「全員参加の社会」の構築が必要とされているが、地域で就労・社会参加を希望する高齢者が数多く存在しているものの、現状ではその希望が満たされているとは言えない。そのため、高齢者が地域社会で「居場所」と「出番」が得られ、社会の支え手として活躍できるよう地域社会と高齢者のニーズに応じた高齢者の就労・社会参加を促進させる取組をモデル事業として実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	シルバー人材センターや社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関の連携強化及び情報共有を図るため全国約10カ所に「プラットフォーム」を設置する。 あわせて生涯現役シニア就労支援コーディネーター(仮称)を配置し、地域ニーズと高齢者ニーズのマッチング等を通じて意欲ある高齢者の就労・社会参加を促進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				422	
		補正予算					
		繰越し等					
		計				422	
		執行額					
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	予算編成過程において検討		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	予算編成過程において検討		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—
				—	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	生涯現役社会実現プラットフォーム事業	—	397	平成26年度新規事業			
	生涯現役社会実現プラットフォーム支援事業	—	24	平成26年度新規事業			
	事務費	—	1	平成26年度新規事業			
				「新しい日本のための優先課題推進枠」422			
	計	—	422				

事業所管部局による点検					
国 必 要 投 入 の	項 目		評 価	評価に関する説明	
		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	少子高齢化の進行に加え団塊の世代が労働市場からの本格的な引退過程に入り、これらの人の地域社会での「居場所」や「出番」を得るための環境の整備が喫緊の課題となっている。また、高齢法第5条により、高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業機会の確保等のために必要な施策を推進するよう努める義務が国に対して課せられている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	高齢法第5条により、高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業機会の確保等のために必要な施策を推進するよう努める義務が国に対して課せられている。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	少子高齢化の進行に加え団塊の世代が労働市場からの本格的な引退過程に入り、これらの人の地域社会での「居場所」や「出番」を得るための環境の整備は喫緊の課題となっていることから、本事業は優先度が高いといえる。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	プラットフォーム事業については、①安定局のシルバー人材センター、②老健局の地域包括支援センター、③社会局のボランティアセンター等それぞれの所管している事業と関係機関のネットワークを構築し、地域の総合的な情報集約・提供機関の場として就労・社会参加を希望する高齢者やそのような高齢者を「支え手」として必要とする地域の事業主等に対する効果的な情報提供、マッチングを行うものである。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	514	生涯現役社会活躍応援事業	厚生労働省・職業安定局		
	822	地域高齢者社会参加推進等モデル事業	厚生労働省・老健局		
	692	世代を超えたボランティア活動の推進	厚生労働省・社会・援護局		
点 検 結 果	「日本再興戦略」(平成25年6月閣議決定)を踏まえ、「全員参加の社会」の構築のため、地域で就労・社会参加を希望する高齢者が地域社会で「居場所」と「出番」が得られ、社会の支え手として活躍できるようモデル的に実施するもので、優先度が高い事業であるため事業を実施する必要がある。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	本事業は、生涯現役社会の実現に向けた社会環境を整備するため、シルバー人材センターや社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携強化や情報共有を図り、高齢者の就業機会の確保等を推進する事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					